

南関町総合優勝を飾る

第78回 玉名郡民体育祭(陸上競技)

5月14日、第78回玉名郡民体育祭(陸上競技)が和水町総合グラウンドで開催されました。20人の町を代表する選手が奮闘した結果、総合優勝を果たしました。(男子の部1位、女子の部3位)

南関町選手団の各種目の優勝者は次のとおりです。

【男子の部】

氏名	種目	記録
津留 健太郎(関東)	3000m 29歳以下	9分26秒7
平嶋 一成(上坂下)	砲丸投げ 30歳～39歳	8m4cm
俵 孝太郎(関町)	400m 29歳以下	1分0秒3
	走高跳び 29歳以下	1m55cm

【女子の部】

氏名	種目	記録
片山 浩子(関東)	100m 35歳～49歳	14秒2
谷崎 咲知(四ツ原)	200m 34歳以下	34秒3



健闘した選手たち



高跳びに挑む俵さん

元気いっぱい、笑顔いっぱいに遊び尽くす

子ども会まつり

5月28日、町子ども会連合会(平山大介会長)は、第3回子ども会まつりをB&G海洋センターで開催しました。町内の子ども会会員に楽しい時間を共有してほしいと開催され、子どもから大人まで約120人が参加。ドッジボールやストラックアウト、ボールすくい等みんなで仲よく楽しみました。その他、花苗を植えたプランターを送る「花いっぱい運動」も実施し、子ども会の活動を応援する企業へ贈られました。



狙いを定め巧みにボールをすくう



子どもたちが心を込めて制作したプランター



熱心に学習に取り組む生徒

安心できる学びの場に

なんかん寺子屋教室(地域未来塾)

5月17日、交流センターで令和5年度なんかん寺子屋教室(地域未来塾)の開講式が行われました。子どもが安心できる居場所も兼ねた学習の場になればと9年前に開講。生徒は持参したテキストを広げ、分からないところ等をスタッフに相談しながら黙々と課題を進めました。中学2年生の小悠介さんは「苦手な教科の克服を目標に頑張ります」と話しました。教室は、毎週水曜日の午後4時半～6時半に中学生を対象に交流センターで実施。参加費は無料。

大地の恵みに感謝を込める

三小5年生が田植え体験

6月15日、南関第三小学校(太田勝広校長)の5年生20人が同校近くの水田で田植えを体験しました。同校では、地域学習の一環として毎年5年生が農業を学習。この日は地元農家協力のもと、ぬかるむ田んぼに苦戦しながらも一本一本丁寧に苗を植えていきました。岡本拓也さんは「足をとられて上手く植えるのが難しかった。これからはお米一粒一粒に感謝しながらご飯を食べます」と笑顔で話しました。



▲一列に並び一生懸命植えます



フットパスについて報告する山崎隊員

地域おこし協力隊活動報告会 & 住民提案型事業実施報告会

5月28日、南関町地域おこし協力隊活動報告会と住民提案型事業実施報告会を南の関うから館で行いました。

協力隊4年目の岩下小太郎隊員は、肥後琵琶の文化資源化に関する活動を、1年目の山崎多世子隊員は、フットパスを用いた観光振興に関する活動をそれぞれ発表しました。住民提案型事業実施報告会では、事業を活用した9団体のうち3団体が報告を行い、住民主体で住民のために取り組んだ事業の成果を発表しました。(詳しくはP11で紹介)

農業者の経営安定に尽力

熊本県農業共済組合から町へ感謝状

5月26日、熊本県農業共済組合が運営する「農業経営収入保険」に町が補助し加入促進に貢献したとして、同組合の池田裕之組合長から佐藤町長へ感謝状が贈られました。同制度は、自然災害や価格低下などで減少した農業者の収入を補填する制度です。佐藤町長は「町の基幹産業は農業であり、安定的な農業経営を推進するため、これからも支援を続けていきたい」と感謝を述べました。



▲池田組合長(左)、佐藤町長(右)



受賞者
佐野遥香さん(左)、伊藤都姫さん(中央)、釘本きん子さん(右)、城門美香さん(欠席)

創造性あふれる作品集まる

家庭で読み聞かせ会 創作童話コンクール

5月9日、創作童話コンクール受賞式が南関御茶屋跡で開催され、子どもの部・一般の部から集まった全10作品の中から4作品が選ばれ表彰を受けました。町の有志で構成する「家庭で読み聞かせ会」(永松泰子代表)の活動の一環として、南関町住民提案型事業を活用し実施。本にふれることで情緒を育み、想像力等の養成を目指しています。動物の冒険について書いた佐野遥香さんは「普段から本が好きで物語をつくりました。みんなにたくさん読んでもらったら嬉しい」と受賞を喜びました。